

中学校第3学年 音楽科学習指導案

日時 令和元年6月28日(金) 2校時
指導者 教育センター所員 立川 理

- 1 題材名 他者と協働しながら、音楽のよさや美しさを味わおう
- 2 教材 組曲「展覧会の絵」 ムソルグスキー作曲 ラヴェル編曲
- 3 題材について

(1) 題材観

本題材は、新学習指導要領〔第2学年及び第3学年〕の内容「B鑑賞」の「(1)ア(ア) 鑑賞に関わる知識を得たり生かしたりしながら、曲や演奏に対する評価とその根拠について考え、音楽のよさや美しさを味わって聴くこと」、「(1)イ(ア) 曲想と音楽の構造との関わりについて理解すること」及び「(1)イ(イ) 音楽の特徴とその背景となる文化や歴史、他の芸術との関わりを理解すること」を受けて設定したものである。

教材曲の組曲「展覧会の絵」は、作曲家ムソルグスキーが、友人の画家・建築家ガルトマンの遺作展で見た絵画を音楽で表現したものである。この組曲は、絵画に対応する10曲の楽曲と絵から絵に移る作曲者の歩みや気分を表している「プロムナード」で構成されている。「プロムナード」とは、フランス語で「散歩」という意味であり、何度か形を変えて冒頭や曲間で演奏される。なお、ムソルグスキーはピアノ曲として作曲しているが、様々な楽器の音色や表現の多様さを感じ取り、音楽を深く鑑賞することができるように、ラヴェル編曲のオーケストラ版を用いることとする。また、曲の特徴や曲想等のバランスを考え、「プロムナード」「古城」「卵の殻をつけたひなごりのバレエ」「キエフの大きな門」の4曲を教材として選択することにより、多様な音楽の鑑賞活動ができると考える。

本題材においては、音楽を形づくっている要素に着目して、曲想と音楽の構造との関わりを感じ取って聴き、そのことによって理解したことや捉えた特徴などを根拠として曲や演奏に対する評価を考え、言葉で説明することにより、音楽のよさや美しさを味わうことができるようにする。また、音楽と絵画との関わりについて考えを深めることで、より一層音楽のよさや美しさを味わうことができるようにしたい。その際、他者と協働する場面を設定することで、生徒の学びを深めることができると考える。

(2) 生徒観

本学級の生徒は、鑑賞の授業において「魔王」「勸進帳」「フーガト短調」「春」「交響曲第5番」「ブルタバ」など多様な音楽を鑑賞してきている。事前アンケートでは、「学校での鑑賞の授業は好きですか」の問いに48%の生徒が「好きだ」と回答している。また、「鑑賞の授業で音楽のよさや美しさを感じたことがありますか」の問いには68%の生徒が「感じたことがある」と回答している。しかし、「音楽の鑑賞の授業で感想を書くことは、好きですか」という問いには、「好きだ」と回答した生徒は26%であった。逆に、23%の生徒が「好きではない」と回答しており、理由として「言葉で表現するのが難しいから」や「何を書けばいいかわからない」「感想を上手に表現できない」などが挙げられていた。また、「鑑賞の授業で、友だちと話し合う活動や共に学び合うことは必要だと思いますか」の問いには、68%の生徒が「必要である」と答え、その理由として、「友だちの考えを聞いて、自分の考え方をもっと広げることができるから」「他の意見を取り入れることで見えてくるものがあるかもしれないから」などの肯定的な意見が多かった。

(3) 指導観

鑑賞領域の授業においては、生徒が音楽的な見方・考え方(=音楽に対する感性を働かせ、音や音楽を、音楽を形づくっている要素とその働きの視点で捉え、自己のイメージや感情、生活や社会、伝統や文化などに関連付けること)を働かせて学習活動に取り組むことが大切であると考え。また、使用するワークシートを工夫することにより、授業改善ができると考える。

そこで指導にあたっては、知覚したことと感受したことを関連付けて捉えることができるようにするために、「曲を聴いて感じたことや心に浮かんだ情景」「理由(根拠)」「音や音楽を形づくっている要素」を分かりやすく整理できるようなワークシートを準備する。そして、1時目においては、まず「古城」を

聴取し、知覚したことと感受したことを教師とのやりとりを通してクラス全体で考え、音楽の特徴についてまとめる。次に、「卵の殻をつけたひなどりのバレエ」を聴取し、知覚・感受したことを個人で書き、その後グループ活動において、知覚・感受したことを広げ深めるようにする。2時目においては、1時目の学習経験を生かして、「キエフの大きな門」の音楽の特徴を捉え、グループ活動を通して、知覚・感受を広げ深めることとする。次に、この曲の基となった絵画との関わりについて考え、音楽と絵画との関わりについての自分なりの考えをもつことができるようにする。最後に、音楽と絵画との関わりについての考えを含めた紹介文を書くことで、本題材で学んだことを振り返らせることができるようにしたい。

4 題材の目標

- 音楽を形づくっている要素や構造と曲想との関わりに関心を持ち、鑑賞する学習に主体的・協働的に取り組む。
- 音楽の特徴とその背景となる文化・歴史や他の芸術との関連に関心を持ち、鑑賞する学習に主体的に取り組む。
- 音楽を形づくっている要素を知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感じながら、音楽を形づくっている要素や構造と曲想との関わりを理解し、根拠をもって批評するなどして、音楽のよさや美しさを味わって聴く。
- 音楽の特徴をその背景となる文化・歴史や他の芸術と関連付けて解釈したり価値を考えたりして、鑑賞する。

5 題材の評価規準

音楽への関心・意欲・態度 [関]	鑑賞の能力 [鑑]
①音楽を形づくっている要素や構造と曲想との関わりに関心を持ち、鑑賞する学習に主体的・協働的に取り組もうとしている。	①音楽を形づくっている要素や構造と曲想との関わりを理解し、根拠をもって批評するなどして、音楽のよさや美しさを味わって聴いている。
②音楽の特徴とその背景となる文化・歴史や他の芸術との関連に関心を持ち、鑑賞する学習に主体的に取り組もうとしている。	②音楽の特徴をその背景となる文化・歴史や他の芸術と関連付けて解釈したり価値を考えたりして、鑑賞している。

6 題材の指導計画と評価計画

時	◎ねらい ・学習活動	[評価規準] 【評価方法】
1	◎音楽を形づくっている要素や構造と曲想との関わりを理解し、根拠をもって批評するなどして、鑑賞する学習に主体的・協働的に取り組む。 ・「古城」「卵の殻をつけたひなどりのバレエ」を鑑賞する。 ・個人で考えをまとめる。 ・グループで意見交流する。 ・全体で共有する。 ・紹介文を書く。	[関①] 【ワークシートの記述、発言の内容、観察】 [鑑①] 【ワークシートの記述、発言の内容、観察】
2 本時	◎音楽と絵画との関連に関心を持ち、音楽の特徴を絵画と関連付けて解釈したり価値を考えたりしながら、主体的に鑑賞する。 ・「プロムナード」「キエフの大きな門」を鑑賞する。 ・個人で考えをまとめる。 ・グループで意見交換する。 ・全体で共有する。 ・紹介文を書く。	[関②] 【ワークシートの記述、発言の内容、観察】 [鑑②] 【ワークシートの記述、発言の内容、観察】

7 本時の目標

音楽と絵画との関連に関心を持ち、音楽の特徴を絵画と関連付けて解釈したり価値を考えたりしながら、主体的に鑑賞する。

8 本時の展開 (2/2)

	学習活動	指導・支援	評価【方法】
導入	1 前時の振り返りをする。	・前回のワークシートから「卵の殻をつけたひなどりのバレエ」の紹介文を紹介する。	
	2 異なる「プロムナード」を鑑賞し、前時の学習を振り返る。	・同じ「プロムナード」でも、「音楽を形づくっている要素」(音色・旋律(調)・速度)が違ふと曲の特徴が変わることを理解させる。	
	3 本時のめあてを確認する。	・「キエフの大きな門」について興味をもたせる。	
めあて 「音楽と絵画との関わりについて考え、曲を味わおう」			
展開	4 「キエフの大きな門」を鑑賞し、ワークシートに「曲を聴いて感じたことや心に浮かんだ情景」「理由」「音楽を形づくっている要素」を書く。	・記述が進まない生徒については、前時に配布したプリントを参考にするように助言し、支援する。	[関②] 【ワークシートの記述、発言の内容、観察】
	5 グループで友だちの考えを共有し、知覚・感受したことを広げる。	・巡回しながら、円滑にグループ活動ができるように支援する。 ・友だちの意見の中から、自分が納得いく内容を、赤でワークシートに記入させる。 ・よい意見はクラス全体で共有させる。	[鑑②] 【ワークシートの記述、発言の内容、観察】
	6 再度、曲を鑑賞する。	・ワークシートの1に記入したことを、実際に音で確認させる。	
	7 この曲と絵画との関わりについて、個人で考える。その後、グループで意見を交わし、自分の考えを広げる。	・「キエフの大きな門」の絵画を提示する。 ・この曲は「絵のイメージ」と合っているか、また合っていないかを考えさせ、グループで論じさせる。 ・巡回しながら、円滑にグループ活動ができるように支援する。	
	8 再度、曲を鑑賞する。	・グループで話し合った内容を、実際の音で確認させる。	
	9 この曲の紹介文を書く。	・この曲と絵画との関わりを踏まえながら、紹介文を書かせる。	
終末	10 今回の学習で学んだことを振り返る。	・この組曲の、他の曲や絵画を紹介しながら、学習を振り返らせる。	

9 本時の評価規準と判定基準

題材の評価規準	判断する目安と指導の手立て	評価の方法
<p>音楽の特徴とその背景となる文化・歴史や他の芸術との関連に関心を持ち、鑑賞する学習に主体的に取り組もうとしている。</p>	<p>おおむね満足できる状況（B）</p> <ul style="list-style-type: none"> ワークシートの「絵のイメージ」と合っているかどうかの問いに答えている。 絵画と音楽との関わりについて、自分の考えを述べたり、他者の考えを聞いたりしている。 <p>十分満足できる状況（A）の例</p> <ul style="list-style-type: none"> 「絵のイメージ」と合っているかどうかについての理由を書いている。 絵画と音楽との関わりについて、自分の考えを進んで述べたり、他者の考えを熱心に聞いたりしている。 <p>指導の手立て（C）</p> <ul style="list-style-type: none"> ポイントをわかりやすく説明し、記述できるように支援する。 話し合い活動に参加できるように支援し、発言を促す。 	<p>[関②]</p> <p>【ワークシートの記述、発言の内容、観察】</p>
<p>音楽の特徴をその背景となる文化・歴史や他の芸術と関連付けて理解して、解釈したり価値を考えたりして、鑑賞している。</p>	<p>おおむね満足できる状況（B）</p> <ul style="list-style-type: none"> 紹介文の中で、曲と絵画との関わりに触れて記述している。 <p>十分満足できる状況（A）</p> <ul style="list-style-type: none"> 紹介文の中で、曲と絵画との関わりについて、根拠を明確にして記述している。 <p>指導の手立て（C）</p> <ul style="list-style-type: none"> ポイントをわかりやすく説明し、記述できるように支援する。 曲と絵画のイメージとの関わりについて問い、聞き取りを通して、支援を行う。 	<p>[鑑②]</p> <p>【ワークシートの記述、発言の内容、観察】</p>